

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成20年4月現在、115団体が加入しています。

今回は直近の活動と今年度の取組予定についてご紹介します。

【第5回RACフォーラム】

～全国水辺のリスクマネジメント全国フォーラム～

川の体験活動に限らず、事故を未然に防ぐため、事前の準備、日常的な研鑽はとても大切です。今回のRACフォーラムでは、リスクマネジメントに特化し、1月24日、25日の2日間にわたって、ガールスカウト会館（東京都）で研修会を行いました。参加者約80名。

1日目の基調報告では、舟橋弥生さん（国土交通省・河川環境課課長補佐）に河川行政の動向についてご示唆いただき、その後、いくつかのテーマ（保険、法律、リスクマネジメント講座、ひやりはっと検証等）に分かれた分科会を実施。2日目には、全体で水辺体験活動のリスクマネジメントのノウハウを共有しました。

【幼児向け川の絵本「川においでよ」出版】

水辺に子どもの賑わいを呼び戻すため、「川はきたない、危険」というイメージから、「川はとても魅力的で、安全に遊べるよ!」ということを普及するために、関係者の協力によって絵本を出版しました。

初版は全国の主な公立の図書館（約900箇所）へ寄贈しています。第2版で販売用を作成予定です。ぜひご一読いただければと思います。



【RACスキルアップ研修会】

平成19年度は、全国6箇所（青森県、岩手県、栃

木県、岐阜県、広島県、宮崎県）で、それぞれの地域の活動の特色を生かしたスキルアップ研修会が1泊2日～2泊3日で開催されました。



青森では小川原湖をフィールドにした氷上体験、広島では組織のリスクマネジメント中心、栃木ではカヤック・Eボートの操船技術を取り上げるなど、開催受入れ団体の趣向を凝らした研修機会となりました。

今年度からはRACリーダーが受講すると、RACインストラクター1種の認定を受けられるようになる予定です。

【今年度の川に学ぶ体験活動全国大会について】

当大会は「川に学ぶ」社会形成や川での体験活動を普及することを主な目的として、平成12年から年に1度開催しているものです。平成20年度は、熊本県の緑川等をメイン会場にして9月上旬に開催の予定です。緑川は水辺体験活動の先進的な地域。魚と一緒に泳げる「河川プール」も健在。熊本ならではの取組みを実行委員会形式で構築していく予定です。

川での体験活動が始めての方、ご家族連れの方でも川で遊び・川に学ぶ体験をすることができます。普段「自然体験が不足気味」な方々も、是非お気軽にご参加下さい。

これらの川での楽しい活動を通じて、川での多くの感動体験を増やすことで、川と人が共存できる暮らし、「川に学ぶ社会」へ、一歩でも近づくことが出来れば幸いです。

《川に学ぶ体験活動協議会》

東京都中央区入新川2-10-6 カヤマビル703号

TEL.03-5542-7577 FAX.03-5542-7578

<http://www.rac.gr.jp/>